

令和2年度

平川市財産区（議会設置財産区）一般会計  
歳入歳出決算及び基金運用状況審査意見書

平川市監査委員

# 目 次

第1	審査の対象	1
第2	審査の期間	1
第3	審査の方法	1
第4	審査の結果	1
	唐竹財産区	2
	尾崎財産区	3

# 令和2年度平川市財産区（議会設置財産区）一般会計 歳入歳出決算及び基金運用状況審査意見

## 第1 審査の対象

令和2年度平川市唐竹財産区一般会計歳入歳出決算  
令和2年度平川市尾崎財産区一般会計歳入歳出決算

## 第2 審査の期間

令和3年7月20日から同年8月6日まで

## 第3 審査の方法

各会計の決算の審査に当たっては、歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書及び基金運用状況を示す書類について、関係法令に準拠して作成されているか、予算が適正かつ効率的に執行されているか、財産の管理及び基金の運用は適正であるか等に主眼をおき実施した。

## 第4 審査の結果

審査に付された決算書等は、関係法令に準拠して作成されており、その計数は関係帳簿及び証拠書類と照合した結果、誤りのないものと認められた。

また、基金の運用状況については、計数に誤りはなく、適正に運用されているものと認めた。

## ○ 唐竹財産区

1 決算収支、基金残高及び公有財産の山林面積は次のとおりである。

(単位：円、㎡)

区 分	予算現額	歳 入	歳 出	歳入歳出 差引残額	基金残高	公有財産 (山林)
唐竹財産区	2,367,000	2,366,992	2,193,354	173,638	121,992,350	3,396,629

2 決算の概要は以下のとおりである。

収入済額は2,366,992円、支出済額は2,193,354円で差引残額は173,638円となっている。

歳入の主なものは、総務使用料720,000円、土地貸付収入1,449,000円、財政調整基金積立金利子12,196円、前年度繰越金185,796円となっている。

歳出の主なものは、議会費401,799円、総務費の山林調査人夫賃160,000円、財産管理町会補助金1,240,000円、財政調整基金積立金229,000円、農林水産業費の森林整備事業負担金91,684円となっている。

公有財産は、土地が原野ほか267,967㎡、山林が3,396,629㎡、出資による権利は弘前地方森林組合840,000円で前年度と同額、財政調整基金は前年度より229,000円増の121,992,350円となっている。

## ○ 尾崎財産区

1 決算収支、基金残高及び公有財産の山林面積は次のとおりである。

(単位：円、㎡)

区 分	予算現額	歳 入	歳 出	歳入歳出 差引残額	基金残高	公有財産 (山林)
尾崎財産区	533,000	533,966	374,781	159,185	19,508,000	6,400,669

2 決算の概要は以下のとおりである。

収入済額は 533,966 円、支出済額は 374,781 円で差引残額は 159,185 円となっている。

歳入の主なものは、総務使用料 166,000 円、財政調整基金繰入金 236,000 円、前年度繰越金 126,989 円となっている。

歳出の主なものは、議会費 202,610 円、農林水産業費の森林国営保険料 165,791 円となっている。

公有財産は、土地が原野ほか 37,459 ㎡、山林が 6,400,669 ㎡、出資による権利は弘前地方森林組合 322,000 円で前年度と同額、財政調整基金は前年度より 236,000 円減の 19,508,000 円となっている。